



府中市立府中第六中学校

令和6年4月17日 第1号

六中だより

～学校教育目標～
“学力と情操”
“健康と忍耐力”
“勤労と責任”

第五十九回入学式 式辞

校長 佐藤 光宏

校庭の桜の花を打つ雨にさえ、春の息吹が満ちあふれるこの良き日に、入学式を迎えた府中第六中学校の、百九十三名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。そして、保護者の皆様、お子様のご入学、まことにおめでとうございませう。

本日は、公私ご多用の折にもかかわらず、多数のご来賓の皆様と保護者の皆様のご臨席を賜り、第五十九回入学式をこのように盛大に挙行できますことを、高い席からではありますが、心より厚く御礼申し上げます。

さて、新入生の皆さん、皆さんは今、担任の先生から名前を呼ばれ、元気に返事をしました。その返事には、「府中第六中学校の生徒として頑張ります。」という約束と決意が込められていると思います。

皆さんがこれから過ごす中学生の時期は、人生において重要な時期になります。それは、中学生の時期が、心と体が飛躍的に成長するときであり、多くのことを吸収できる時期であるからです。

ここで、新入生の皆さんへの期待を、三つお話しします。

一つ目は、自分から進んで学ぶ生徒になってほしいということです。明日から始まる授業や様々な活動では、時に間違ったり、失敗したりすることもあると思います。でも決して恥ずかしがる必要はありません。失敗や間違いは、皆さんを大きく成長させる貴重な経験になります。遠回りすることで新しい出会いがあったり、思いがけない発見をもたらしてくれることもあります。新しく出会った友だちとの学び合いの中で、「わかる」ことや「できる」ことを一つ一つ積み上げて、学ぶ楽しさや面白さをたくさん感じてください。私たちも皆さんとともに学んでいきたいと思ひます。

二つ目は、思いやりをもち、助け合える生徒になってほしいということです。自分勝手なわがままを言ったり、友だちが嫌がることをしたりしては、気持ちの良い学校生活を送ることはできません。一人の友だちのことをみんなが大切に思ひ、相手の気持ちになって、優しい心遣いをするこゝが、居心地の良いクラスを創ります。お互いの意見や考えの違ひを認め合ひ、高め合ふことで、自分も集団も豊かに成長していけるのです。今日から、新しい友だちと支え合ふて、楽しい中学校生活を送ってください。

三つ目は、自分の夢の実現に向かひて努力を続ける生徒になってほしいということです。メジャーリーグで長年活躍したイチローさんは、どんな時でも、素振りやスローイング、ストレッチなどの基礎や準備を徹底的に繰り返す練習を引退までやめることはなかつたそうです。イチローさんはただひたすらに小さいことを丁寧に積み重ねることで、大きな成果につなげるといふ生き方を貫いてきました。「継続は力なり」といふ言葉もあるように、皆さんも新しい生活の中で、たゆまぬ努力を積み重ね、自分自身を大きく成長させてほしいと願っています。

中学校生活は必ずしも楽しいことばかりではないかもしれませう。ときには困難が皆さんの前に立ちふさがるともかもしれませう。その時に必要なのは前向きな心です。皆さんが明るい気持ちと希望さえ持ち続けていれば、どんな困難も乗り越えることができるはずでせう。そのことを忘れないでください。そして、困難を乗り越えるために、皆さんの周りには、友だち、先輩、先生、家族が大きな力になってくれます。そして、困難や失敗を乗り越えた時、一回り成長した自分と出会えるはずでせう。

皆さんが入学した府中第六中学校は、これまでに多くの諸先輩を輩出し、輝かしい伝統が築かれています。これを受け継ぎ、先生方のご指導の下、上級生に学び、同級生と切磋琢磨し、明るく豊かな学校生活を築いてください。

結びとなりますが、保護者の皆様、私ども、教職員一同、生徒の健やかな成長を期して、全力で学校教育の充実に取り組んでまいります。ご家庭や地域におかれましても、より一層のご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。式辞といたします。